



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

東

上場会社名 株式会社ソフィアホールディングス 上場取引所  
 コード番号 6942 URL <https://www.sophia.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯塚 秀毅  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 財務・IR担当 (氏名)上原 達也 (TEL)03(6758)0455  
 兼 管理部ゼネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,472	27.7	261	198.2	247	254.7	195	—
2020年3月期第2四半期	4,285	127.7	87	—	69	—	0	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 195百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 0百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	72	69	—	—
2020年3月期第2四半期	0	03	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,157	11.8	1,079	883	883	9.9
2020年3月期	8,919	—	883	—	883	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,079百万円 2020年3月期 883百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにとり、業績予想の開示を控えさせていただいております。

なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,737,720株	2020年3月期	2,737,720株
2021年3月期2Q	48,903株	2020年3月期	48,853株
2021年3月期2Q	2,688,852株	2020年3月期2Q	2,688,895株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	14
(追加情報)	15
(重要な後発事象)	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が停滞し、企業収益の悪化や雇用情勢の悪化による消費マインドの低下など、先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループが事業活動を展開するインターネット関連事業及び通信事業におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛要請に伴うテレワーク推進など、ICT（情報通信技術）を活用したサービスへの需要が高まる一方、企業の戦略的IT投資の景気後退に伴う影響・動向については、予断を許さない状況になっております。また、調剤薬局及びその周辺事業におきましても、5月に緊急事態宣言が解除されたものの、外出の自粛に伴う医療機関への受診抑制による処方箋枚数の減少や、患者様の動向が変化しております。

当社グループにおきましては、社内外への感染防止と従業員の安全確保を最優先とすべくテレワーク体制を一層強化し、2020年4月より調剤薬局及びその周辺事業を除き、原則として在宅勤務による業務を実施しており、新たな働き方への対応も順調に進展しております。

このような事業環境の下、インターネット関連事業、通信事業におきましては、システム受託開発、ASPサービスやホスティングサービスを中心に、サービスの機能強化、並びにシェア獲得によるビジネスの拡大に注力してまいりました。また、調剤薬局及びその周辺事業におきましては、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、患者様、並びに当社グループ社員の安全確保に取り組みながら営業を継続し、サービスの提供に努め、事業運営における業務の効率化による経費削減の推進に力を入れてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績としましては、売上高が5,472百万円（前年同四半期比27.7%増）となりました。利益面におきましては、営業利益261百万円（前年同四半期比198.2%増）、経常利益247百万円（前年同四半期比254.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益195百万円（前年同四半期は0百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### [インターネット関連事業]

働き方改革分野や、システムインフラ設備投資関連において顕在化したプロジェクトに積極的に対応し、また、売上高及び収益力の強化に向け、SES事業の拡大、強化に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、システム開発案件を中心に発注の延期、予算見直し等が発生したことにより、売上高は433百万円（前年同四半期比7.8%減）、セグメント利益は24百万円（前年同四半期比60.9%減）となりました。

#### [通信事業]

前期に積み上げていた受注残に加え、この分野においては、新型コロナウイルス感染症拡大による大きな影響がそれほど大きくならなかったことや、MVNO（※1）、FVNO（※2）やISP（※3）を中心とした情報通信サービスが堅調に推移し、売上高は1,574百万円（前年同四半期比12.9%増）、セグメント利益は197百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

#### [調剤薬局及びその周辺事業]

緊急事態宣言解除後、処方箋枚数は緩やかに回復傾向にあり、また、前期に立ち上げた店舗の売上実績が寄与したこと、並びに、調剤薬局事業運営における業務の効率化による経費削減の効果がみられたことや、不採算店舗からの撤退等、固定費の削減に努めた結果、売上高は3,476百万円（前年同四半期比45.0%増）、セグメント利益は119百万円（前年同四半期はセグメント損失51百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループにおける薬局総数は、56店舗となりました。今後も新規出店等により、当該事業を拡大して参ります。

#### [その他]

その他には、これまでECサイト関連事業、海外事業、及び健康医療介護情報サービス事業を含んでおりましたが、健康医療介護情報サービス事業を行っていたエリアビージャパン株式会社の全株式を前期に譲渡し、また当社の連結子会社であるソフィアデジタル株式会社を存続会社、ECサイト関連事業を行っていた株式会社オルタエンターテイメントを消滅会社とする吸収合併を行っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間において、その他には海外事業のみを含んでおり、売上高は一百万円（前年同四半期は41百万円）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント利益2百万円）となりました。

（※1） Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

（※2） Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

（※3） Internet Services Providerの略。公衆通信回線等を経由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ238百万円増加し、9,157百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加によるものであります。

### (負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ42百万円増加し、8,078百万円となりました。これは主として、長期借入金の増加によるものであります。

### (純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ195百万円増加し、1,079百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加によるものであります。

キャッシュ・フローの状況においては、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は2,262百万円となり、前連結会計年度末と比べて668百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、478百万円（前年同四半期は287百万円の使用）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益等が主な要因であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は92百万円（前年同四半期は23百万円獲得）となりました。これは、定期預金の払戻による収入、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入等が主な要因であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は97百万円（前年同四半期は428百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる収入等が主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただいております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,635,241	2,263,989
受取手形及び売掛金	1,568,690	1,404,306
商品及び製品	590,459	561,383
その他	266,121	242,507
貸倒引当金	△830	△338
流動資産合計	4,059,682	4,471,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	428,046	430,836
減価償却累計額	△285,439	△286,129
建物及び構築物（純額）	142,607	144,706
土地	133,512	133,512
リース資産	64,136	64,136
減価償却累計額	△61,462	△62,104
リース資産（純額）	2,673	2,032
その他	506,069	498,010
減価償却累計額	△415,056	△424,424
その他（純額）	91,012	73,585
有形固定資産合計	369,805	353,837
無形固定資産		
のれん	4,076,661	3,905,203
ソフトウェア	14,488	10,934
その他	2,240	2,237
無形固定資産合計	4,093,390	3,918,375
投資その他の資産		
長期貸付金	87,143	82,389
繰延税金資産	129,087	151,654
敷金及び保証金	131,373	140,483
その他	98,541	86,901
貸倒引当金	△49,211	△47,624
投資その他の資産合計	396,934	413,805
固定資産合計	4,860,131	4,686,018
資産合計	8,919,813	9,157,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197,549	2,081,390
短期借入金	540,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,025,636	953,359
1年内償還予定の社債	57,200	57,200
リース債務	3,794	3,663
未払金	163,384	150,397
未払法人税等	86,735	80,451
預り金	17,971	30,679
賞与引当金	10,299	7,820
その他	95,645	99,948
流動負債合計	4,198,217	3,764,911
固定負債		
社債	206,600	178,000
長期借入金	3,562,491	4,056,160
リース債務	6,449	4,552
繰延税金負債	3,075	14,110
退職給付に係る負債	2,514	3,984
その他	56,812	56,798
固定負債合計	3,837,942	4,313,606
負債合計	8,036,159	8,078,517
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,358,000	2,358,000
資本剰余金	652,887	652,887
利益剰余金	△2,059,061	△1,863,615
自己株式	△62,055	△62,128
株主資本合計	889,770	1,085,143
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,117	△5,793
その他の包括利益累計額合計	△6,117	△5,793
純資産合計	883,653	1,079,349
負債純資産合計	8,919,813	9,157,867

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,285,688	5,472,386
売上原価	2,804,539	3,666,660
売上総利益	1,481,149	1,805,726
販売費及び一般管理費	1,393,405	1,544,077
営業利益	87,743	261,648
営業外収益		
受取利息	277	153
受取配当金	5	14
貸倒引当金戻入額	7,044	2,176
その他	5,488	16,254
営業外収益合計	12,815	18,599
営業外費用		
支払利息	26,541	25,210
借入手数料	1,256	2,521
為替差損	539	358
その他	2,335	4,255
営業外費用合計	30,673	32,346
経常利益	69,885	247,901
特別利益		
事業譲渡益	—	5,881
その他	—	184
特別利益合計	—	6,066
特別損失		
固定資産除却損	8,285	266
その他	—	6
特別損失合計	8,285	273
税金等調整前四半期純利益	61,599	253,695
法人税、住民税及び事業税	56,571	69,780
法人税等調整額	4,934	△11,531
法人税等合計	61,505	58,249
四半期純利益	93	195,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	93	195,446



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	93	195,446
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	505	323
その他の包括利益合計	505	323
四半期包括利益	599	195,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	599	195,769
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	61,599	253,695
減価償却費	36,247	32,434
のれん償却額	121,146	191,921
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,918	△2,079
受取利息及び受取配当金	△282	△168
支払利息	26,541	25,210
為替差損益 (△は益)	511	341
事業譲渡益	—	△5,881
固定資産除却損	8,285	266
借入手数料	1,256	2,521
売上債権の増減額 (△は増加)	114,429	183,070
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,178	29,075
その他の資産の増減額 (△は増加)	△55,992	32,936
仕入債務の増減額 (△は減少)	△65,226	△119,040
未払金の増減額 (△は減少)	△36,826	△43,084
預り金の増減額 (△は減少)	△428,631	10,846
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,092	△7,226
前受金の増減額 (△は減少)	14,215	4,470
未払費用の増減額 (△は減少)	△18,176	△9,639
前渡金の増減額 (△は増加)	△13,298	163
その他の負債の増減額 (△は減少)	△5,185	4,378
その他	—	302
小計	△264,389	584,515
利息及び配当金の受取額	327	195
利息の支払額	△25,917	△24,324
法人税等の支払額	△87,410	△81,816
法人税等の還付額	89,683	341
営業活動によるキャッシュ・フロー	△287,706	478,911

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,700
定期預金の払戻による収入	36,014	41,501
有形固定資産の取得による支出	△2,406	△9,269
貸付金の回収による収入	6,681	4,713
事業譲受による支出	△22,000	—
事業譲渡による収入	—	6,655
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△294,628	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	307,586	58,977
敷金の差入による支出	△8,462	△9,593
敷金の回収による収入	—	683
その他	220	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,006	92,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△31,800	△249,998
長期借入れによる収入	98,743	2,467,478
リース債務の返済による支出	△3,494	△1,992
長期借入金の返済による支出	△463,492	△2,089,001
社債の償還による支出	△28,600	△28,600
自己株式の取得による支出	△89	△73
設備関係割賦債務の返済による支出	—	△270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,733	97,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△693,477	668,549
現金及び現金同等物の期首残高	2,722,739	1,594,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,029,261	2,262,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	インター ネット関連 事業	通信事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	454,105	1,392,793	2,398,164	4,245,063	40,625	4,285,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,664	976	—	16,641	735	17,376
計	469,770	1,393,770	2,398,164	4,261,704	41,360	4,303,065
セグメント利益 又は損失(△)	61,428	166,188	△51,288	176,329	2,531	178,860

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業、海外事業及び健康医療介護情報サービス事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	176,329
「その他」の区分の利益	2,531
セグメント間取引消去	88
全社損益(注)	△91,206
四半期連結損益計算書の営業利益	87,743

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、従来「健康医療介護情報サービス事業」について、量的な重要性が低下したため「その他」として記載する方法に変更しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局及びその周辺事業」セグメントにおいて、のれんのコ額に重要な変動が生じております。

有限会社長東薬局、株式会社長東、有限会社三榮、株式会社アルファメディックス、盛徳商事有限会社の連結子会社化が主な要因となっております。

なお、当該事象によるのれんのコ増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,612,361千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	インター ネット関連 事業	通信事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	427,031	1,572,922	3,472,432	5,472,386	—	5,472,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,074	1,130	4,472	11,677	—	11,677
計	433,106	1,574,053	3,476,905	5,484,064	—	5,484,064
セグメント利益 又は損失(△)	24,021	197,588	119,548	341,158	△41	341,117

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	341,158
「その他」の区分の損失(△)	△41
セグメント間取引消去	—
全社損益(注)	△79,468
四半期連結損益計算書の営業利益	261,648

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「インターネット関連事業」セグメントにおいて、2020年8月1日に株式会社藤井の株式を新規取得し、同社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては20,463千円であります。

(注)株式会社藤井は、2020年8月1日付けで株式会社ソフィアテックに社名変更しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(株式取得による子会社化)

当社の連結子会社であるソフィア総合研究所株式会社は、2020年6月30日開催の取締役会において、株式会社藤井の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2020年8月1日付で全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社藤井
事業の内容	システム開発事業・システムエンジニアリングサービス事業

(2) 企業結合を行った主な理由

インターネット関連事業の拡大を推進することを目的として本株式の取得を決定したものであります。

(3) 企業結合日

2020年8月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社ソフィアテック

(6) 取得する議決権比率

100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるソフィア総合研究所株式会社による現金を対価とする株式取得であるためです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年8月1日から2020年9月30日

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	5,000千円
取得原価		5,000千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー業務に対する報酬・手数料等 4,200千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

20,463千円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	82,664千円
固定資産	200
資産合計	82,864
流動負債	56,234
固定負債	42,093
負債合計	98,327



(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響等を含む仮定について重要な変更はありません。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。